

目標達成計画

作成日：平成27年7月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		運営推進会議を隣接する同法人の施設で開催しているため、ホームでの利用者の暮らしぶりや介護実態が委員に見えにくく、その観点から委員の意見がもらえにくく、結果的に利用者の暮らしの質を高める視点のネックとなっている。	事業所内で運営推進会議を開催し、介護実態の状況を見て頂き、見た意見・要望をもとに、サービスの質を高め、併せて、委員を通じ地域住民等に当事業所の周知を図る。	次回(8月)の運営推進会議を当事業所のスペースを工夫し開催して、利用者の暮らしぶりの実態を委員に知って頂き、会議に出た意見をもとにサービスの質を高めていく。また、外部者を対象に事業所見学会の開催する。	12ヶ月
2		介護計画をもとにサービスを提供を行っているが、チームとして個々の利用者についてのモニタリングの実施やモニタリングを反映した介護計画の変更・実施の継続性が十分でない。	チームで介護計画を作り上げ、その介護計画をもとに実施したサービスが利用者の心身状態に適しているかをチームでモニタリングを行い、実態に即した介護計画とサービス提供の継続性に努める。	現在、週1回業務ミーティングを行っているが、これを充実して利用者個々のケースについてモニタリングを行い、職員間で現状の共有化とモニタリングを反映した介護計画の作成・実施を継続的に行う。	12ヶ月
3		利用者の外出希望を随時把握し、気軽に外出ができる仕組みづくりに欠けている。	利用者から外出を含めたレクリエーション等の希望・要望を把握し、希望に沿った年間行事計画の作成と実施。また、状況に即した外出機会の確保。	日々の生活から利用者の希望・要望を把握するとともに、週1回個々の利用者から希望・要望を伺う機会を設け、希望に沿った外出の実施。次年度の行事計画の作成。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月